

WALTER SCOTT

▶ BNY MELLON | INVESTMENT MANAGEMENT

# ウォルター・スコット 優良成長企業ファンド (資産成長型)

追加型投信/内外/株式

NISA対象  
成長  
投資枠

NISA(成長投資枠)の対象ファンドです。  
※販売会社によっては、お取扱いが異なる場合があります。

お申込みの際は必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

目論見書のご請求・お申込みは…



〈販売会社〉

商号等 三井住友信託銀行株式会社  
登録金融機関 関東財務局長(登金)第649号  
加入協会 日本証券業協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人金融先物取引業協会

設定・運用は…

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



# ✧ ウォルター・スコット優良成長企業ファンド ✧

1 ウォルター・スコット社の助言を受け、持続的に成長する世界の優良企業に投資します

2 35年以上にわたって優れたリターンを実現してきた運用戦略

3 ダウンサイドリスクを抑制しつつ、長期にわたる安定的な株式リターンの確保を目指します

WALTER SCOTT

▶ BNY MELLON | INVESTMENT MANAGEMENT



スコットランド屈指の資産運用会社  
「ウォルター・スコット」

投資信託発祥の地として知られるエジンバラにて1983年に創業

同社唯一の目標は

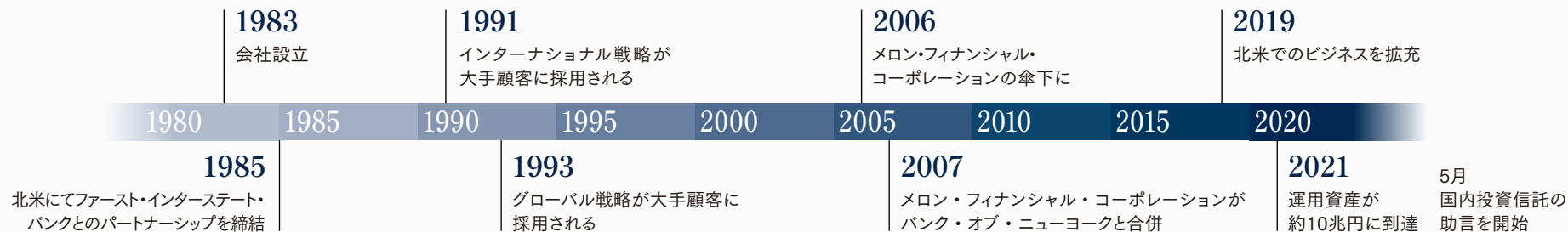
「長期的に顧客の資産を保全し、成長させる」運用を提供すること



## ウォルター・スコット社の特徴

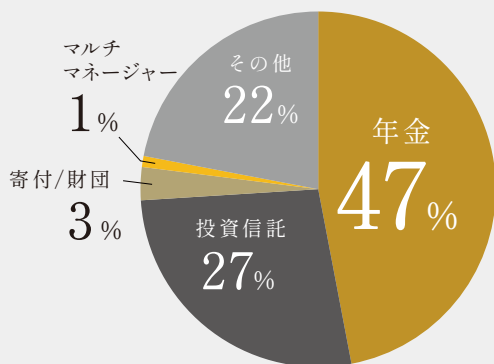
- ◆徹底したリサーチに基づき、「持続的な富の創出」に着眼した銘柄選択のアプローチを貫く
- ◆「企業の生み出す価値が株式リターンに反映される」という信念のもと、世界の優良企業を発掘し投資
- ◆「誠実性、一貫性、継続性」という企業文化で、顧客第一の経営と優れた投資リターンを目指す
- ◆グローバル株式運用に経営資源を集中し、1983年の創業以来変わらない運用哲学と運用プロセス

## 歴史

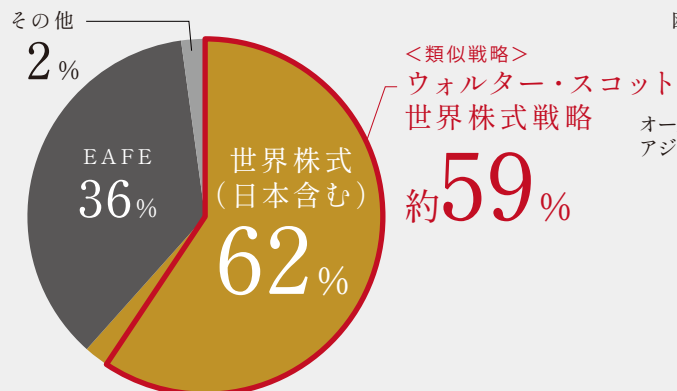


ウォルター・スコット社はその卓越した運用が評価され、国内外の年金基金に採用されてきました。運用資産約10兆円のうち、旗艦戦略である「ウォルター・スコット世界株式戦略(当ファンドの類似戦略)」は、運用資産全体の5割以上を占めています。

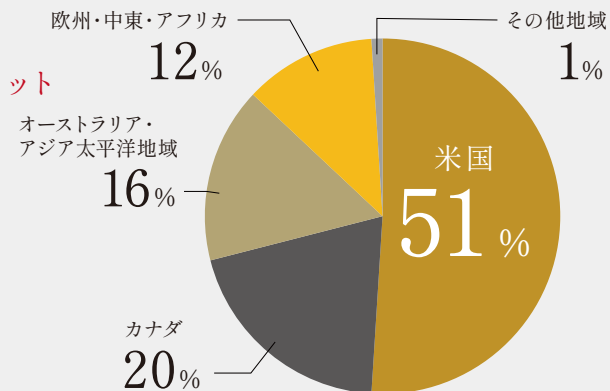
顧客属性別



投資戦略別



顧客国・地域別



(2023年9月末時点)

※当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。22ページの「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

※上記データは、四捨五入の関係で比率の合計が100%にならない場合があります。※EAFEは欧州(Europe)、豪州(Australia)、極東(Far East)の略。

※ウォルター・スコット社の正式名称はウォルター・スコット・アンド・パートナーズ・リミテッドです。※当資料中においてウォルター・スコット社と表記します。

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)ウォルター・スコット社、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

# 35年以上にわたる長期の優れた運用実績

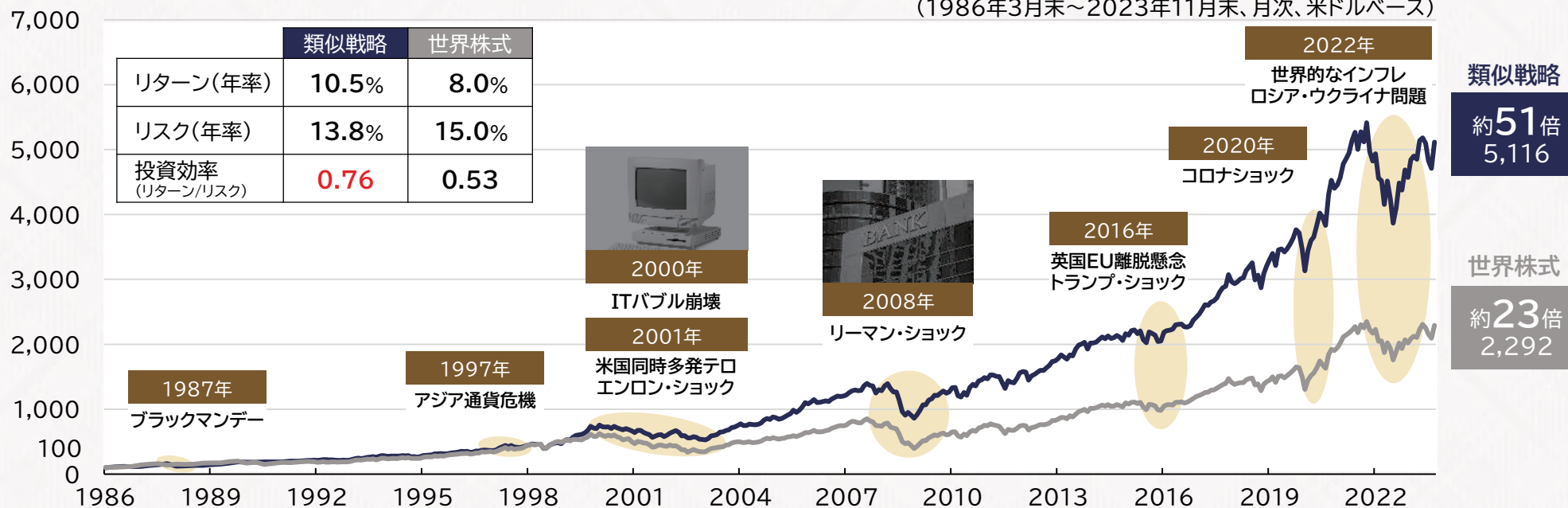


当ファンドと同様の運用手法を用いる類似戦略は、世界の優良企業を発掘し投資することで、市場変動時に相対的に下落を抑制し、長期にわたり良好なパフォーマンスを実現してきました。

## ウォルター・スコット世界株式戦略(以下類似戦略)のパフォーマンス推移

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(1986年3月末～2023年11月末、月次、米ドルベース)



各局面での 最大下落率	ITバブル崩壊 ( '00/3 - '03/6)		リーマン・ショック ( '07/10 - '09/9)		コロナショック ( '20/1 - '20/4)		景気後退懸念 ( '21/12 - '23/5)	
	類似戦略	世界株式	類似戦略	世界株式	類似戦略	世界株式	類似戦略	世界株式
	-30.4%	-46.3%	-38.2%	-53.7%	-16.9%	-20.9%	-28.5%	-25.1%

※類似戦略はコンポジットパフォーマンス(費用控除前)。※1986年3月末(類似戦略運用開始(コンポジットの計測開始)時点)を100として指数化、1991年以前は四半期データを使用、リスク・リターンは1992年以降のデータを基に算出。※世界株式はMSCI World トータルリターンを使用しています。同指標は当ファンドのベンチマークではありません。

(出所)ブルームバーグ、ウォルター・スコット社、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

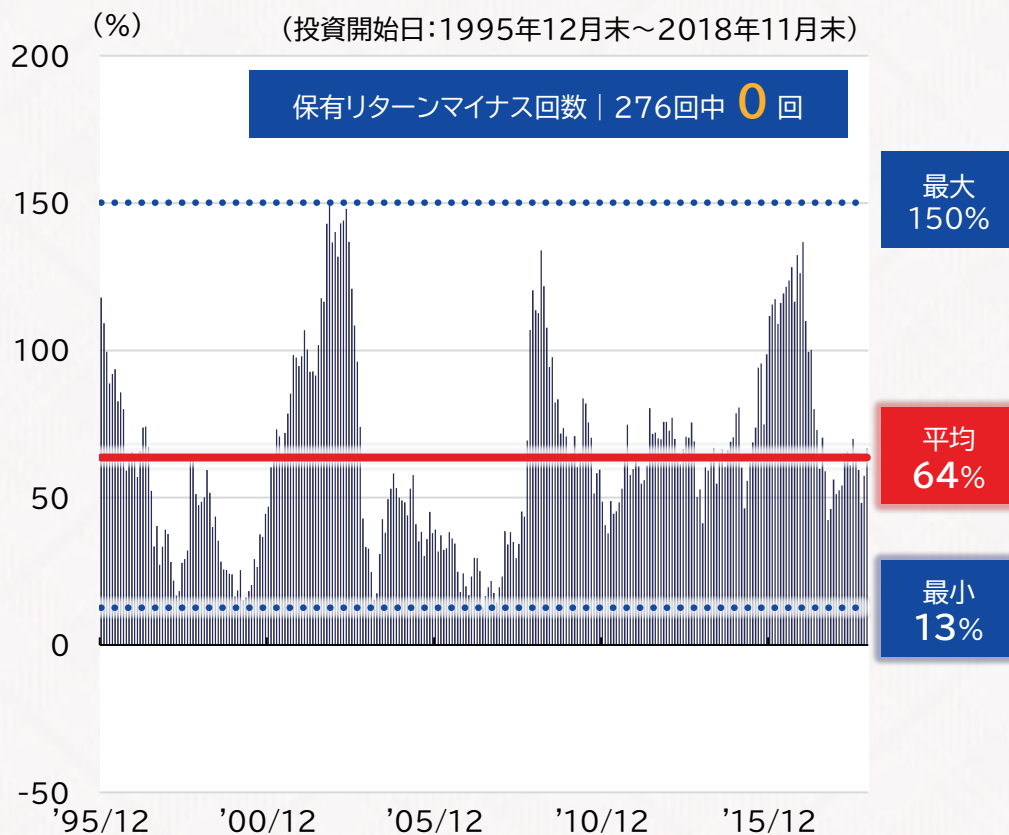


# 類似戦略を5年間保有した場合のリターン

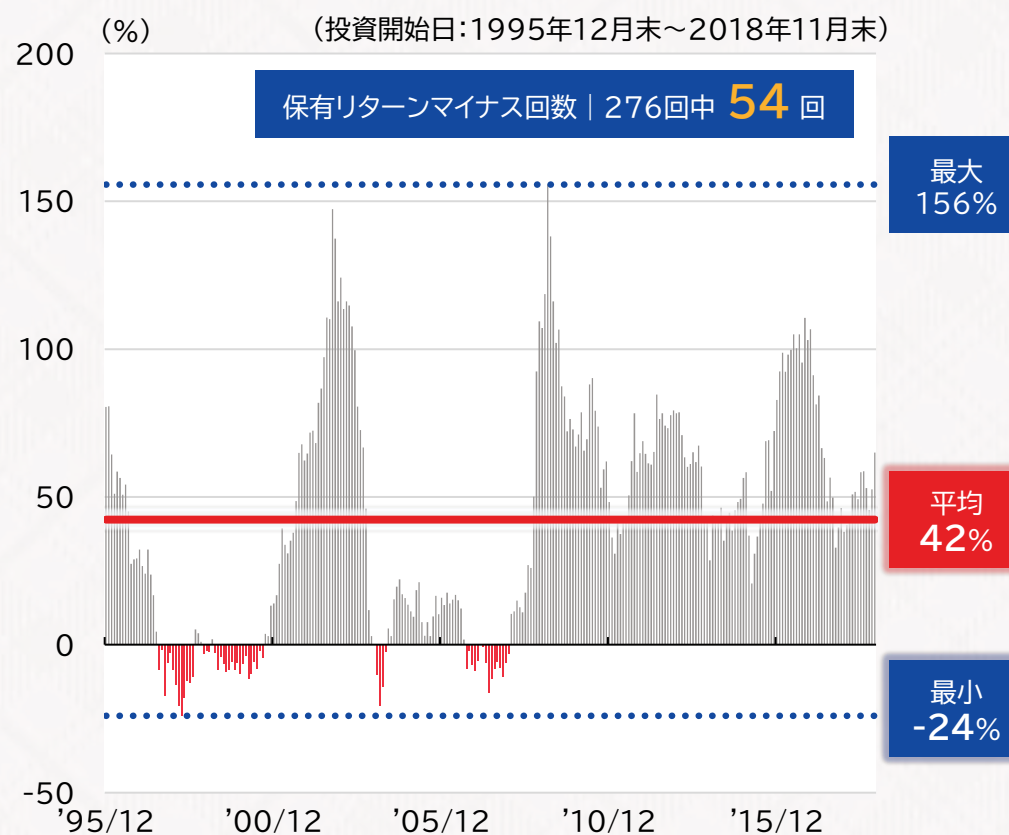


類似戦略を5年間保有した場合、保有リターンのマイナス回数は0回、保有リターンの平均は約64%となりました。世界株式と比較して、相対的に安定した優れた投資リターンを獲得してきたことが確認できます。

類似戦略



(ご参考)世界株式



※類似戦略はコンポジットパフォーマンス(費用控除前)。※1995年12月末~2023年11月末の期間の月次リターンデータを基に、各基準月から5年間継続保有したと仮定した場合の累積リターン(米ドルベース)。  
 ※世界株式はMSCI World トータルリターンを使用しています。同指標は当ファンドのベンチマークではありません。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。  
 (出所)ブルームバーグ、ウォルター・スコット社、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

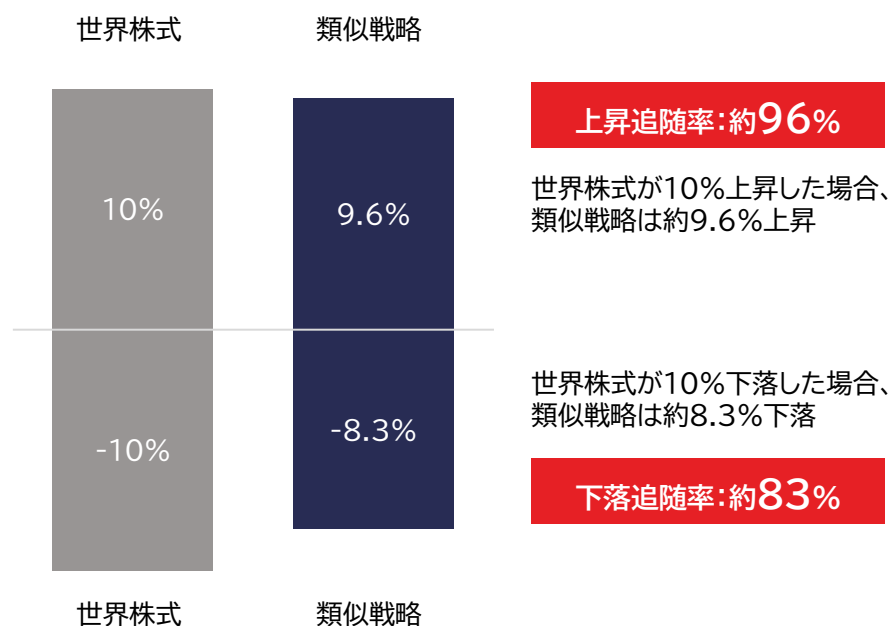
# 下落抑制の重要性



優良成長企業を厳選した結果、類似戦略のポートフォリオは世界株式の**下落時には下落を抑制し、世界株式の上昇時には概ね追隨**するという特性になっています。

## 過去20年間の上昇追従率・下落追従率

(2003年11月末～2023年11月末、米ドルベース)

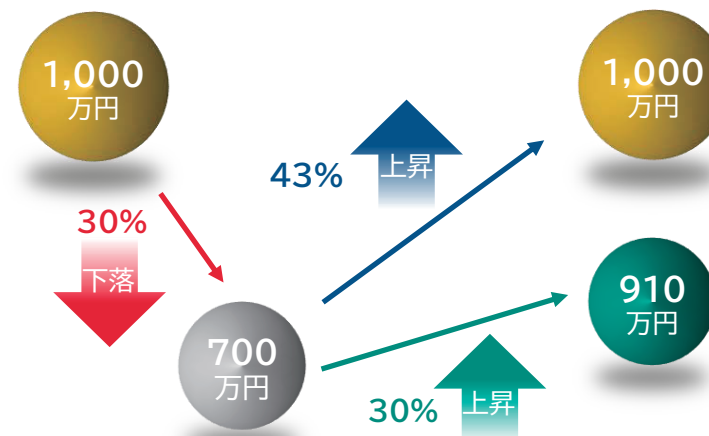


Q. 大きな損失を回避することがなぜ重要なのでしょう？

A. **大きな損失は取り戻すのが難しいからです。**

(ご参考: 資産の下落率と上昇率の関係)

損失を取り戻すには、下落率以上の上昇率が必要です。また、大きく下落するほど、取り戻すために必要な上昇率は大きくなります。



※類似戦略はコンポジットパフォーマンス(費用控除前)。※世界株式はMSCI World トータルリターンを使用しています。同指標は当ファンドのベンチマークではありません。※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※上記はイメージです。

(出所)ブルームバーグ、ウォルター・スコット社、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

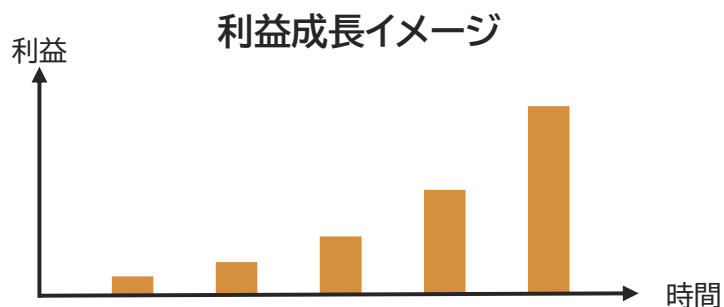




# 「“持続的”な富を創出する」企業を長期保有

「**長期的に顧客の資産を保全し、成長させる**」目標のもと、持続的な成長が見込まれる優良企業へ投資します。

## 持続的な富(利益等)を創出する企業へ投資



## 長期保有

類似戦略の平均保有期間

約**13.2**年

(ご参考)  
過去5年間(2018年~2022年)  
銘柄回転率平均: **5.6%**

※平均保有期間は2022年12月末から過去10年間の銘柄回転率のデータを基に算出。

## Point

資産運用は長期投資が大切といわれますが、  
【ファンドへ長期投資すること = 組入銘柄への長期投資】とは限りません。  
ファンドの組入銘柄は売買され、入れ替わっています。

### 銘柄回転率

値が高いほど売買が活発。  
値が低いほど売買が少なく、組入銘柄の保有期間が長期化。

## 過去1年間の銘柄回転率

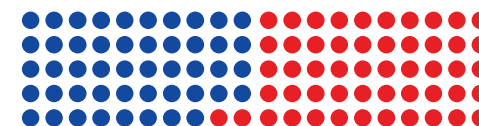
類似戦略 | 約**4.5%**

100銘柄のうち、  
1年間で**5**銘柄程度入れ替わるイメージ



同種ファンドの平均\* | 約**52.0%**

100銘柄のうち、  
1年間で**52**銘柄入れ替わるイメージ



\*過去1年間の銘柄回転率の同種ファンド平均は、Global Growth Equityをユニバースとして、2022年12月末のデータを基に算出。

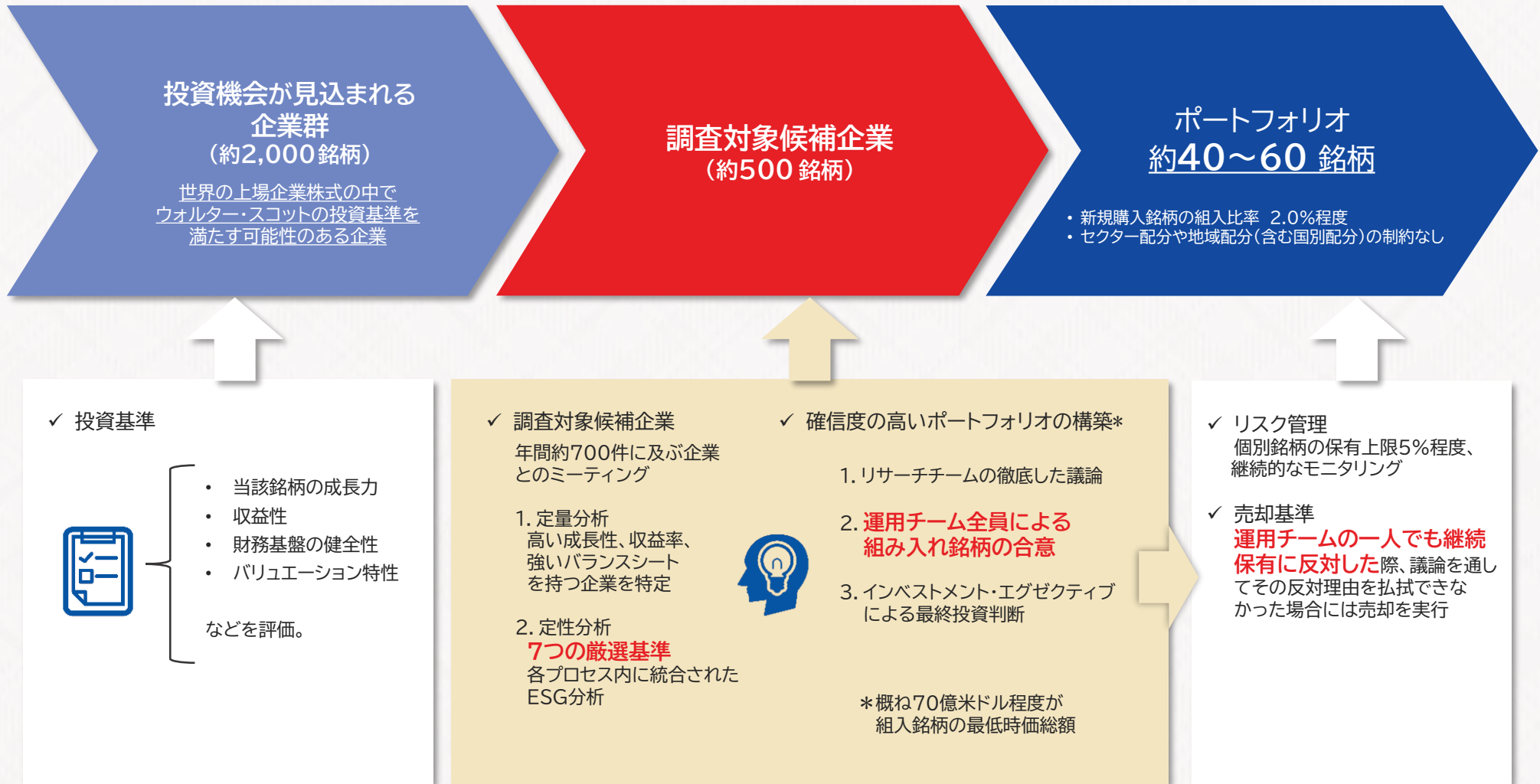
※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)eVestment、ウォルター・スコット社、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

# 銘柄選定プロセス



新たにポートフォリオに組み入れられる銘柄は、  
徹底した精査を経て、運用チームメンバー全員の合意により決定されます。



※2023年11月末時点

(出所) ウォルター・スコット社、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社



# 長期保有のための7つの厳選基準



ウォルター・スコット社が投資する企業は、**財務基盤が強固で、持続的な成長率が高く、長期的に安定した収益を伸ばす能力**を備えた世界をリードする企業です。その選定の際には、下記の7つの着眼点に基づいた分析を行います。

1.	企業戦略の自律性	✓ 市場シェアと競合企業、事業再編に対する積極性、競争優位性と参入障壁、価格決定力、顧客やサプライヤーの集中度、(他企業による)代替リスク
2.	市場における地位	✓ 企業規模、成長力、景気変動への耐性、組織構造、規制、持続可能性(サステナビリティ)
3.	マネジメント・取締役会	✓ 経験と在籍年数、多様性、報酬
4.	企業を取り巻く状況	✓ 会社の沿革、事業内容、部門別/地域別の組織体制、顧客事例、事業拠点
5.	誠実性(ESG)	✓ ESG上の検討課題、株主構成と議決権、インサイダーセリング(経営陣等による株式売却)、利害関係者との取引、自己株式の扱い、毒薬条項(ポイズンピル)の導入
6.	財務状況	✓ 収益構造、キャッシュフロー、財務諸表
7.	バリュエーション	✓ 株価バリュエーション、時価総額、流動性、流通している株式の種類

※2023年11月末時点

(出所) ウォルター・スコット社、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

# “持続的”に利益が成長する企業の選定が大切



7つの基準のうち、「市場における地位」の観点から、利益の成長力について考えます。  
株価は業績を反映する鏡といわれており、利益成長は株価上昇の大切な要因の一つです。  
一方で、持続して利益成長を続ける企業は少なく、銘柄選定が重要です。

## 世界株式と世界企業利益の推移

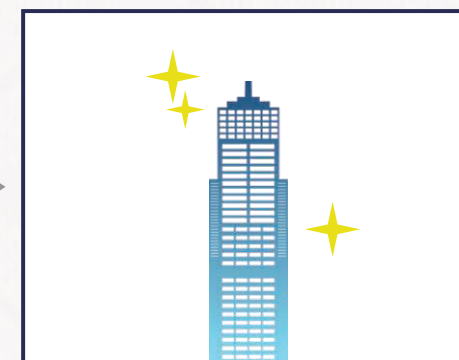


## 持続して利益成長している企業はごくわずか

世界株式の約1,400社のうち、  
5年連続5%以上増益している企業はわずか約4%\*

世界株式  
1,446社

5年連続5%以上増益の企業は  
わずか55社(約4%)



※世界株式はMSCI World トータルリターン。起点を100として指数化。世界企業利益はMSCI WorldのEPS(1株当たりの利益、直近12か月の実績値)を使用。  
\*2022年12月末時点のMSCI Worldの構成銘柄(1,508社)のうち、2018会計年度から2022会計年度までのデータが取得可能な1,446社の純利益データを基に算出。

(出所)ブルームバーグ



# 徹底的な銘柄精査



個別銘柄の購入・売却に際してはチームでの議論を丁寧に行なっています。

購入時

全員の合意が必要

売却時

継続保有に誰か一人でも疑念を抱き、  
その疑念を覆せない場合 等

運用チーム

インベストメント・エグゼクティブ



新卒採用の人材を一から育て上げ、7-8年目に運用のプロとなるようジョブローテーションが行なわれます。  
人材定着率が非常に高く、運用チームの多くのメンバーが「ウォルター・スコット社在籍年数=業界経験年数」となっています。  
そのため、**会社の運用哲学やカルチャーが継承**され、次世代の人材が育っています。

★:「在籍年数=業界経験年数」であるメンバー

※2023年9月末時点

(出所) ウォルター・スコット社、BNY Mellon・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

# 優れた銘柄精査により選出された優良企業



類似戦略は**厳選された優良企業の株価が長期にわたって大きく上昇する恩恵**を受けてきました。

## 類似戦略の保有銘柄と ウォルター・スコット社の保有年数\*

保有年数	保有銘柄数	保有銘柄例
20年以上	9 銘柄	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ADP</li> <li>● キーエンス</li> <li>● 信越化学工業</li> </ul>
10年以上 20年未満	20 銘柄	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ナイキ</li> <li>● シスコ・システムズ</li> <li>● LVMHモエヘネシー・ルイヴィトン</li> </ul>
3年以上 10年未満	13 銘柄	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ASMLホールディング</li> <li>● ウォルト・ディズニー</li> <li>● カナディアン・ナショナル・レールウェイ</li> </ul>
3年未満	6 銘柄	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コストコホールセール</li> <li>● ロンザ</li> <li>● プルーデンシャル</li> </ul>

(2023年9月末時点)

## ADPの株価の推移 (国・地域名:米国 業種名:情報技術)

給与計算など業務委託ソリューションの世界的なプロバイダー。長年にわたり蓄積した顧客データを基に、2006年よりADP雇用統計を算出・公表している。



### ADPのモニタリング事例

コロナショック時において同社の株価は下落したものの、同社の過去のイベント時等におけるレジリエンス(耐久力や回復力)の強さ等を考慮し、保有継続を判断しました。

## 信越化学工業の株価の推移 (国・地域名:日本 業種名:素材)

水道管や壁紙などに活用されるインフラ整備の必需品の塩化ビニル樹脂や、半導体の基板として使用されるシリコンウエハーなどで世界シェアNo.1を誇る。



\*保有年数・投資開始時期はウォルター・スコット社が用いる同様のプロセスにより運用を行なういずれかの戦略で投資を開始した時期を示しており、当ファンドにおける投資開始時期とは異なります。  
 ※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。※株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)ブルームバーグ、ウォルター・スコット社、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社



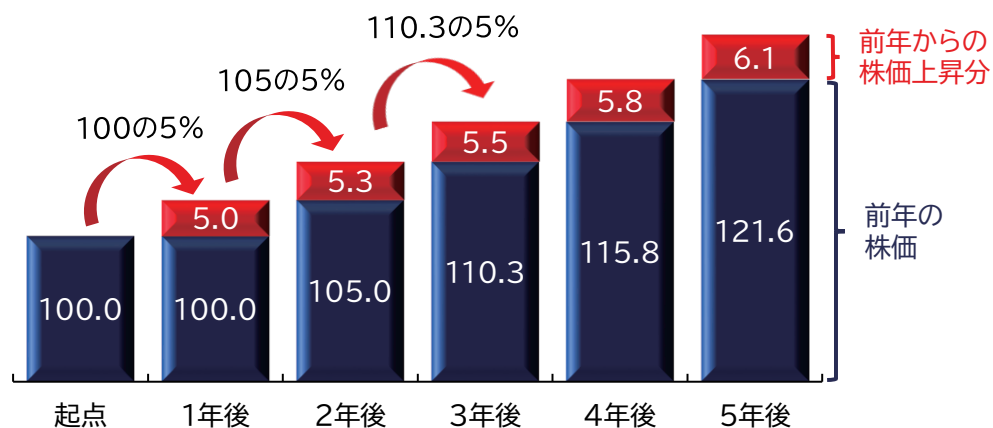
# 銘柄の保有期間が長いことにおける長期投資のメリット



## 複利効果の期待

株価を決める最大の要因はその企業の業績です。そのため、“持続的に”利益を創出し続ける企業は継続的な株価上昇が見込まれます。

毎年継続して5%株価が上昇した場合の株価の推移  
(起点の株価を100と仮定)



投資期間が長いほど複利効果は大きくなります

## 売買手数料などの取引コストの低減

ファンド内での組入銘柄の入れ替えは取引コストがかかり、パフォーマンスの下押し要因です。

### 銘柄回転率の低いファンド



### 銘柄回転率の高いファンド



銘柄回転率が低い(銘柄の保有期間が長い)ほど、銘柄回転率の高いファンドと比較して取引コストが抑えられます

※上記はイメージです。

# 継続的な銘柄のモニタリングの実施



銘柄組入後も継続的にミーティングを行ない、保有銘柄のチェックや新規銘柄の発掘など、**ポートフォリオのメンテナンスを欠かしません**。売却した銘柄の追跡なども行ない、次の運用へ活かします。

## 1週間に最低でも6回以上の会議を重ねてポートフォリオをメンテナンス

会議	全社員による週次ミーティング	地域別運用チームによるミーティング	全運用チームによるミーティング	運用責任者によるミーティング
議題	最近の企業のニュースなどを確認・議論	保有銘柄や新規組入候補について、各地域における企業リサーチ等の結果などを踏まえ議論 ※全売却した銘柄のモニタリングも含む		最終的な投資決定に関する議論
頻度	週1回	週1回 + 臨時	週2回 + 臨時	週2回 + 臨時
新型コロナウィルスのパンデミック時	新型コロナウィルスのパンデミックのニュースを確認	あるフードサービス企業では、在宅勤務の拡大や娯楽イベントの中止などが売上の急減に繋がったことが分かった。しかし、高い価格決定力を持っていることや、その後売上が改善傾向にあることはプラス材料である。		高い価格決定力などから収益性の劇的な改善が見込める確信度が高く、追加購入を決定。



(出所) ウォルター・スコット社、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社



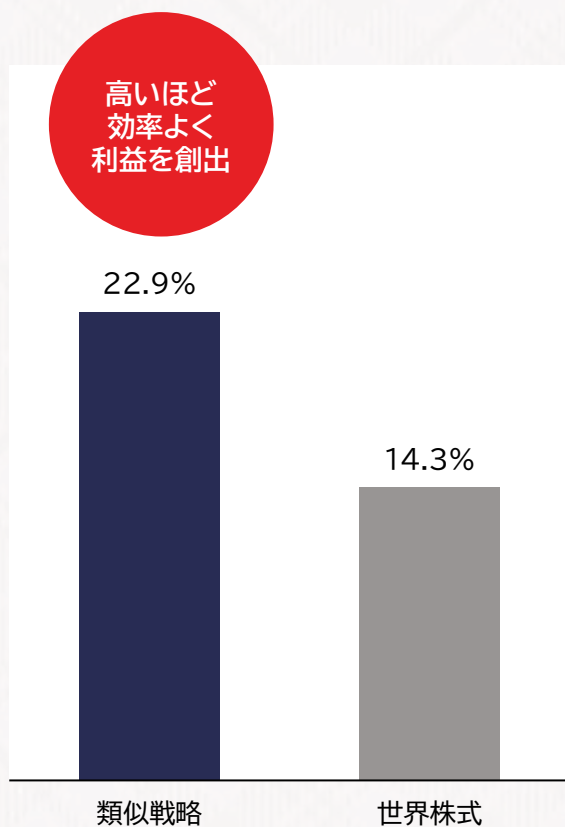
# 類似戦略のポートフォリオ特性値(2023年9月末時点)



優良企業を厳選しているため、  
世界株式と比較して**利益率が高く、負債比率が低い銘柄を中心としたポートフォリオ**となっています。

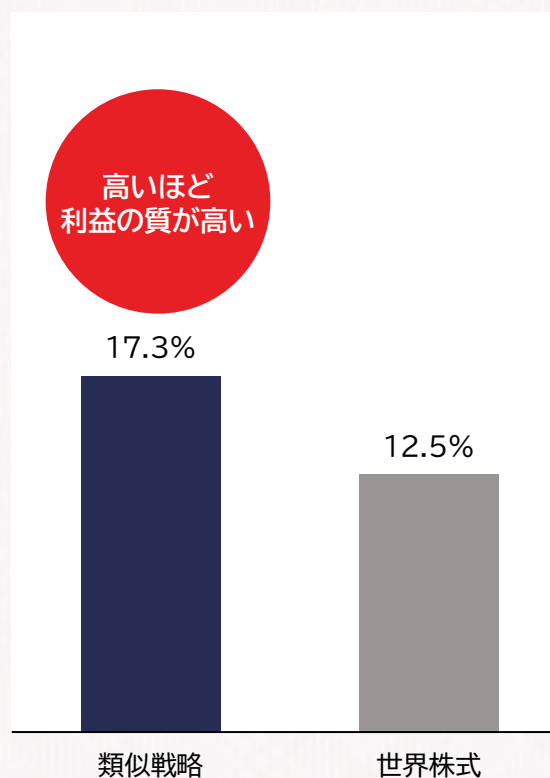
## ROE(自己資本利益率)

企業の収益性を測る指標



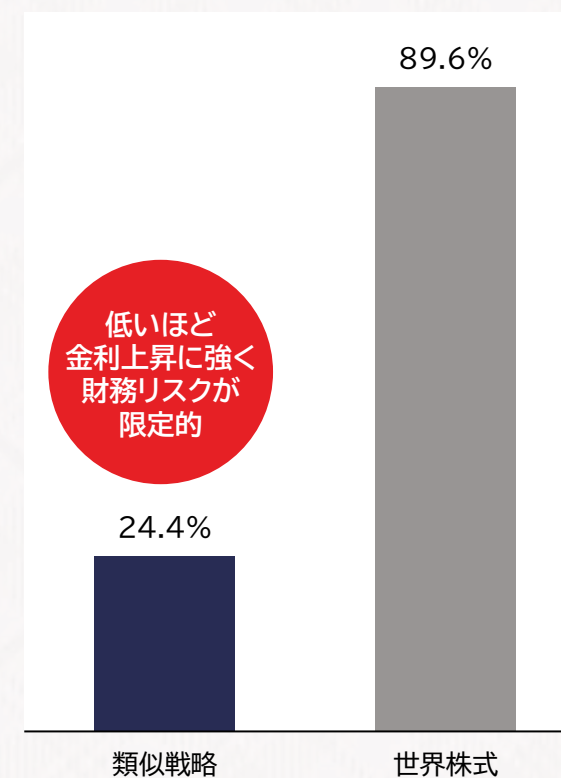
## 営業利益率

本業で利益を稼ぐ力を測る指標



## 純負債比率

会社の返済能力、財務の安定性を測る指標



※類似戦略はグローバルポートフォリオ代表口座。※世界株式はMSCI Worldを使用しています。同指標は当ファンドのベンチマークではありません。

※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)ブルームバーグ、ウォルター・スコット社、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社



## ノボ・ノルディスク(デンマーク/ヘルスケア)

糖尿病、肥満症領域に強みを持つ世界的な製薬会社

今後も患者数の増加が見込まれる糖尿病および肥満症領域におけるマーケットリーダーであり、継続的な成長が期待される。



### 株価の推移

(デンマーク・クローネ) (投資開始月末(2009年7月末)~2023年11月末、日次)



\*投資開始時期はウォルター・スコット社が用いる同様のプロセスにより運用を行なういずれかの戦略で投資を開始した時期を示しており、当ファンドにおける投資開始時期とは異なります。  
\*写真はイメージです。\*上記はウォルター・スコット社のコメント(2023年11月時点)を基に作成したものであり、今後予告なく変更される可能性があります。\*業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。\*株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。\*類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所) ブルームバーグ、ウォルター・スコット、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

### ウォルター・スコットの着眼点

#### 投資理由：高い成長性と市場シェア

- 糖尿病患者および肥満症患者は、座っていることが多いライフスタイルの増加などから世界的に急拡大しており、世界的なマーケットリーダーとして、同社はその恩恵を受ける位置にいる。
- 同社の製品ポートフォリオには、優れたインスリン製剤だけでなく、血糖値を下げる働きを持つインスリンの分泌を促すGLP-1受容体作動薬が含まれる。GLP-1受容体作動薬については世界市場シェアが50%を超えており、また、高い製品開発力を誇る。
- 同社はバランスシートが堅固であり、十分に高い収益性を確保している。

#### 最近の動向：肥満症薬への注目の高まり

- ◆ 2021年に米国で発売された同社の肥満症治療薬「ウゴービ」は、旺盛な需要を誇り、供給が追い付かない状況となっているため、欧州等では発売延期となっている国も見られる。
- ◆ 「ウゴービ」は心血管疾患を予防する効果もあることが臨床試験で認められ、さらなる需要が喚起されている。
- ◆ 2023年4-9月期の業績は好調で、売上高が前年同期比+30%、営業利益が同+32%となった。



(ご参考)

# 積立投資でも力を発揮する当ファンドの類似戦略



運用した場合、現金で保有した場合と比較して**資産寿命が長い**ことが分かります。  
また、類似戦略に毎月末5万円を20年間積立投資した後の資産残高は、毎月末20万円を12年間取崩しながらも**取崩し開始時から約2倍と大きく上昇**しています。

毎月末5万円ずつ20年間積立投資を行ない、翌月より毎月末20万円ずつ取り崩した場合の残高推移(試算)



※類似戦略はコンポジットパフォーマンス(当ファンドの運用管理費用(信託報酬)年率1.727%(税込)相当控除後)。なお、世界株式、現金については、運用管理費用等の運用コストを考慮していません。※ブルームバーグレポートを用いて円換算。※一定の条件をもとに試算を行なったものであり、実際の成果とは必ずしも一致しません。実際の運用においては、手数料・税金等(適宜変更)がかかりますが、これらの費用は考慮していません。※積立投資であれば必ず一括購入を上回る成果が得られるということではありません。

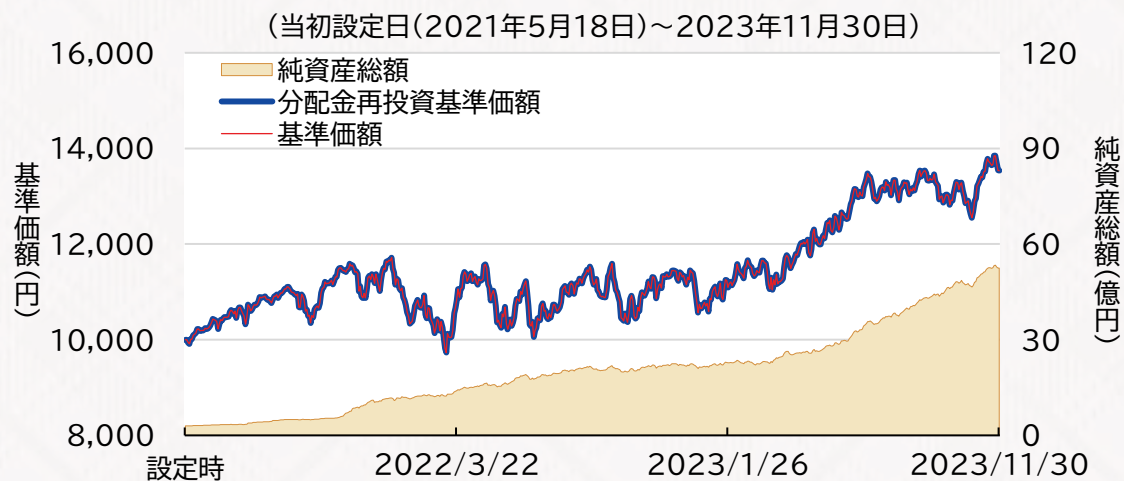
※1991年12月末~2023年11月末の期間の月次データを基に算出、円ベース。※世界株式はMSCI World トータルリターンを使用しています。同指標は当ファンドのベンチマークではありません。  
※類似戦略は、当ファンドと同様の運用手法を用いた類似ファンドの過去の実績(コンポジットパフォーマンス)を示したものであり、当ファンドの実績とは異なります。また、当ファンドの将来の成果を示唆・保証するものではありません。※上記は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)ブルームバーグ、ウォルター・スコット社、BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社

# 当ファンドの運用状況(基準日:2023年11月30日)



## 基準価額・純資産の推移



基準価額	13,535円
純資産総額	52億円

期間別騰落率	
期間	ファンド
1カ月間	+6.8%
3カ月間	-0.0%
6カ月間	+8.8%
1年間	+20.5%
年初来	+25.9%
設定来	+35.4%

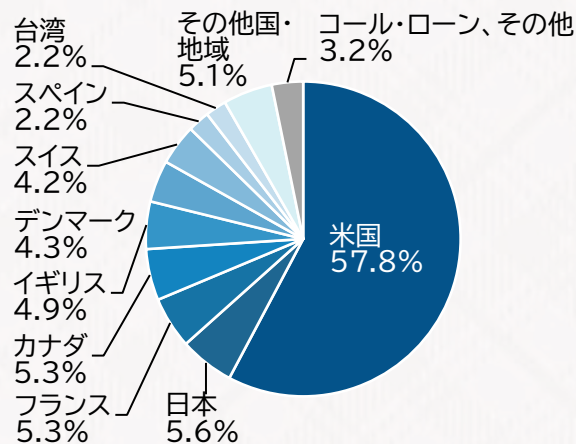
## 分配の推移(1万口当たり、税引前)

決算期(年/月)	分配金
第1期~第4期	各0円
第5期('23/11)	0円
設定来分配金合計額	0円

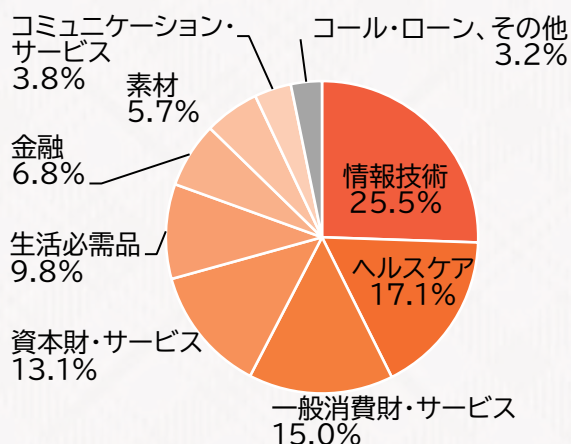
  

資産別構成		
資産	銘柄数	比率
外国株式	44	91.2%
国内株式	3	5.6%
コール・ローン、その他		3.2%
合計	47	100%

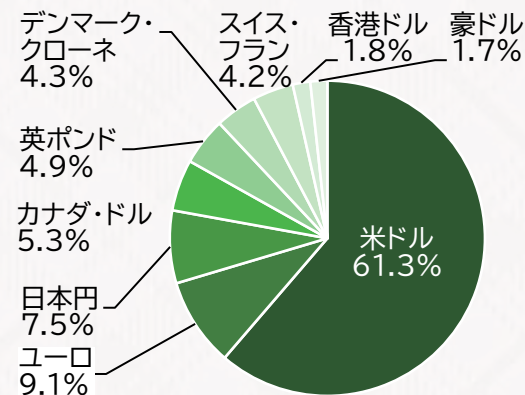
## 国・地域別構成



## 業種別構成



## 通貨別構成



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用(信託報酬)は控除しています(ファンドの費用をご覧ください)。※「期間別騰落率」の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間とし、当該ファンドの「分配金再投資基準価額」を用いた騰落率を表しています。※実際のファンドでは、課税条件によって投資者ごとの騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。※分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。※比率は、純資産総額に対するものです。※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。※株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。※上記データは、四捨五入の関係で合計の数値と一致しない場合があります。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。



# 組入上位10銘柄(基準日:2023年11月30日)



銘柄数:47

銘柄名	業種名	国・地域名	概要	比率
ノボ・ノルディスク	ヘルスケア	デンマーク	糖尿病のケアに注力する世界的な製薬企業。糖尿病患者は、生活習慣の悪化などを理由に急増しており、同治療薬のマーケットリーダーとして成長が見込まれる。	4.3%
マイクロソフト	情報技術	米国	世界最大級のソフトウェア企業。Windows OSや企業向けソフトウェア・アプリケーションで独占的な地位を占めており、クラウド関連サービスをドライバーにしたさらなる成長が見込まれる。	3.9%
リンデ	素材	米国	産業用ガスの世界トップクラスで顧客は多岐にわたる。複雑なビジネスであり、設備投資額を多く必要とするため、参入障壁が高い。また、長期契約が基本であり、安定的な収益が見込まれる。	3.5%
アリマントーション・クシュタール	生活必需品	カナダ	「サークルK」ブランドで知られるコンビニエンスストア運営会社。優良な立地やブランド力、コスト削減意識の高さなどにより、業界をリードする成長や収益性を実現している。	3.4%
アンフェノール	情報技術	米国	家電から航空宇宙関連まで、各種製品に利用されるコネクタの設計・製造・販売を手掛ける世界的なメーカー。また、経営陣はコストコントロールや企業買収の見極めに優れた実績を持つ。	3.4%
アドビ	情報技術	米国	クリエイティブソフトウェアの世界的プロバイダー。画像や動画編集などのソフトウェアを手掛ける同社は、販売方法を売り切り型からサブスクリプション型へ転換し、より安定した利益成長を実現している。	3.3%
マスターカード	金融	米国	世界シェア2位のクレジットカードブランドを持つ資金決済処理サービス会社。世界人口の増加や、キャッシュレス化の進展、新興国などでの金融包摂の進展などが事業の追い風。	2.8%
ブッキング・ホールディングス	一般消費財・サービス	米国	オンライン旅行予約サイト大手。ホテルを中心に、航空券、パッケージツアーなどの関連商品も手掛ける。同業界における支配的な地位を背景に、高い利益率やキャッシュフロー効率を誇る。	2.8%
アルファベット	コミュニケーション・サービス	米国	インターネット検索の世界首位Googleなどを傘下に持つ持株会社。子会社を通じて、広告やソフトウェア、消費者コンテンツなどを提供する。	2.7%
TJX	一般消費財・サービス	米国	米国中心にオフプライス・ストアを運営。売れ残りの衣料品などを格安で買付け、割引価格で販売。伝統的な小売店からの市場シェア獲得や、米国外への進出を背景とした業績成長が見込まれる。	2.5%

※比率は、純資産総額に対するものです。※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

※株式の国・地域名については、原則としてMSCI Inc.が提供するリスク所在国・地域に基づいて表示しています。※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

# ファンドの特色

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



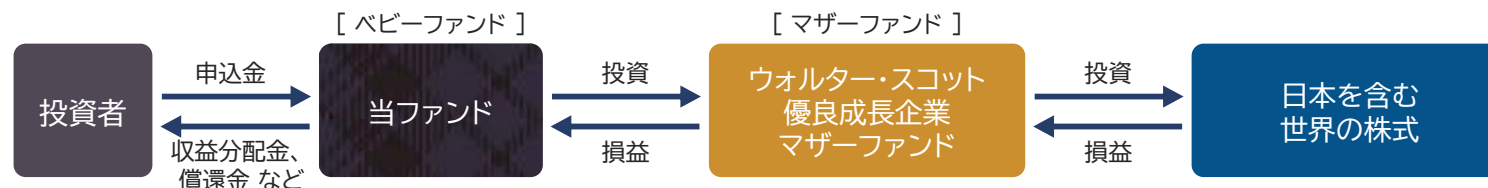
## 1 日本を含む世界の株式の中から、持続的な成長力を有すると判断される企業の株式に投資します。

※不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券に投資することがあります。

## 2 運用にあたっては、ウォルター・スコット・アンド・パートナーズ・リミテッドから助言を受けます。

### ファンドの仕組み

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、投資者のみなさまからお預かりした資金をまとめてベビーファンド(当ファンド)とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。



- マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。
- マザーファンドにおいて、株式の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。
- 為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。デリバティブ取引(法人税法第61条の5で定めるものをいいます)は、信託財産の資産または負債にかかる価格変動、金利変動および為替変動により生じるリスクを減じる目的ならびに投資の対象とする資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。

大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、ファンドの特色1.および2.の運用が行なわれないことがあります。

## 3 毎年5月17日および11月17日(休業日の場合、翌営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。

### 分配方針

- ◆ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。
- ◆ 原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。





## 基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。**信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- **投資信託は預貯金とは異なります。**

〈主な変動要因〉 ※基準価額の変動要因は、下記に限定されるものではありません。

株価の変動 〔価格変動リスク・ 信用リスク〕	株価は、政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給等を反映して変動します。発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなることもあります。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 新興国の証券市場は、先進国の証券市場に比べ、一般に市場規模や取引量が小さく、流動性が低いことにより本来想定される投資価値とは乖離した価格水準で取引される場合もあるなど、価格の変動性が大きくなる傾向が考えられます。
為替変動リスク	外貨建資産については、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。 組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。 特に、新興国の為替レートは短期間に大幅に変動することがあり、先進国と比較して、相対的に高い為替変動リスクがあります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。 新興国への投資には、先進国と比べて大きなカントリー・リスクが伴います。
その他	解約資金を手当てするため組入証券を売却する際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。 この場合、基準価額が下落する要因となります。

## その他の留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。  
これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。

## リスクの管理体制

- 委託会社では、取締役会が決定した運用リスク管理に関する基本方針に基づき、運用本部から独立した部署および会議体が直接的または間接的に運用本部へのモニタリング・監視を通じ、運用リスクの管理を行ないます。
- 委託会社では、流動性リスク管理に関する規程を定め、ファンドの組入資産の流動性リスクのモニタリングなどを実施するとともに、緊急時対応策の策定・検証などを行ないます。
- 取締役会等は、流動性リスク管理の適切な実施の確保や流動性リスク管理態勢について、監督します。

# ファンドの費用

※三井住友信託銀行でお申込みの場合

※消費税率10%の場合

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



## ■ お客さまが直接的に負担する費用

	料率等	費用の内容								
購入時手数料	購入代金*に応じて購入金額に下記手数料率を乗じて得た額とします。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>購入代金</th> <th>手数料率(税込)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,000万円未満</td> <td>3.30%</td> </tr> <tr> <td>1,000万円以上1億円未満</td> <td>2.75%</td> </tr> <tr> <td>1億円以上</td> <td>2.20%</td> </tr> </tbody> </table>		購入代金	手数料率(税込)	1,000万円未満	3.30%	1,000万円以上1億円未満	2.75%	1億円以上	2.20%
	購入代金		手数料率(税込)							
	1,000万円未満		3.30%							
1,000万円以上1億円未満	2.75%									
1億円以上	2.20%									
*購入代金とは、購入に際してお支払いいただく金額の総計をいい、購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等相当額が含まれます。										
信託財産留保額	ありません。	-								

## ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 <b>1.727%</b> (税抜 <b>1.57%</b> )	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され日々の基準価額に反映されます。
その他の費用・ 手数料	「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問い合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。



# お申込みメモ

※三井住友信託銀行でお申込みの場合  
 ※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



購入単位	1万円以上1円単位 ※購入時手数料および購入時手数料に対する消費税等相当額を含めてこの金額でお申込みいただけます。
購入・換金価額	申込受付日の翌営業日の基準価額(1万口当たり)
換金代金	原則として換金申込受付日から起算して5営業日目からお支払いします。
申込受付中止日	① ニューヨーク証券取引所またはロンドン証券取引所の休業日 ② ①のほか、一部解約金の支払い等に支障を来すおそれがあるとして委託会社が定める日 (注)申込受付中止日は、販売会社または委託会社にお問合わせください。
申込締切時間	午後3時まで(販売会社所定の事務手続きが完了したもの)
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止その他やむを得ない事情が発生した場合には、購入、換金の申込みの受け付けを中止すること、すでに受け付けた購入、換金の申込みを取消すことがあります。
信託期間	2050年5月17日まで(2021年5月18日当初設定) 受益者に有利であると認めるときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を延長できます。
繰上償還	●ウォルター・スコット・アンド・パートナーズ・リミテッドと締結した投資助言契約が終了し、マザーファンドが繰上償還することとなった場合には、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させます。 ●次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、繰上償還できます。 ・受益権の口数が30億口を下回るようになった場合 ・信託契約を解約することが受益者のために有利であると認めるとき ・やむを得ない事情が発生したとき
決算日	毎年5月17日および11月17日(休業日の場合、翌営業日)
収益分配	年2回、収益分配方針に基づいて収益の分配を行ないます。 (注)当ファンドには、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。 なお、お取扱い可能なコースおよびコース名については異なる場合がありますので、販売会社にお問合わせください。
課税関係	課税上は株式投資信託として取扱われます。配当控除、益金不算入制度の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。当ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にお問合わせください。※税法が改正された場合等には変更される場合があります。
委託会社	大和アセットマネジメント株式会社
受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社	三井住友信託銀行株式会社 ほか

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は大和アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 当資料で使用した画像等はイメージです。
- 当資料でご紹介した企業はあくまでも参考のために掲載したものであり、個別企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに組入れることを示唆・保証するものではありません。

WALTER SCOTT

➤ BNY MELLON | INVESTMENT MANAGEMENT

